

# 平成31年度 学校経営計画書

学校名	倉敷市立真備陵南高等学校
校長氏名	石田桂子

## ○本校のミッション（使命、存在意義）

本校は昼間定時制普通科高等学校である。定時制教育の諸課題に適時・的確に対応するために、新しい教育システムの導入や、柔軟な教育課程の編成によって、多様な生徒のニーズに応える。また、生徒一人ひとりの自己実現を目指して、基礎的・基本的な学力や社会性を身に付けさせるとともに、「勤勉、健康、協力」(校訓)を大切にす有為な社会人を育成する。

## ○ミッションの追求を通じて実現しようとする本校の学校経営ビジョン（将来像、目指す姿）

- ・不登校経験者や学習の遅れ等からの再出発を目指す生徒が、安心して学べる学習環境のある学校
- ・生徒が自己実現に向けて取り組むことができるように、基礎的・基本的な学力や社会性を身に付けさせる学校
- ・健康の維持・増進を図るとともに、自ら事故防止、防災や減災に努めることができる能力・態度を育む学校
- ・被災した地域の復興のために、開かれた学校づくりを推進する活力のある学校
- ・学校経営計画の実現のために教職員が協働して取り組める組織力のある学校

## ○ 当該年度の学校経営目標・計画

### ※「生徒一人ひとりの社会的自立と進路実現を目指し、教職員全体で組織的に取り組む」

自己有用感を高めるための関わりを継続しながら、社会人として自立するために必要な力（規範意識、基礎的な学力、進路実現力、人間関係力等）をつけることができるよう、次の重点課題を教職員全体で組織的に取り組んでいく。

※自己有用感：人の役に立った、人から感謝された、人から認められたという肯定的な自己評価。社会性の基礎。

#### ◇重点課題

- 生徒の基本的な生活習慣の定着を支援するとともに、生徒の社会性の涵養に努める。
- 授業改善に向けての取組を継続し、生徒の基礎・基本の学力の定着に努める。
- 各年団におけるキャリア教育の充実を図り、生徒の進路意識の高揚と進路実現に努める。
- 生徒理解と情報共有を進め、生徒の居場所・安心な学びの場づくりに努める。

#### ◇具体的な重点項目

##### 1 教務課

- (1) 授業規律の確立と、家庭学習の習慣付けによって、基礎学力の充実を目指す。
- (2) 授業改善の組織的取組を継続し、主体的な学びの場を保障することで、より高いレベルの学力の育成を目指す。

##### 2 生徒課

- (1) 生徒の基本的な生活習慣が定着し、規範意識を身に付けることができるよう支援する。
- (2) 生徒が学校行事や部活動・委員会・ボランティア活動等に積極的に参加し、「自己有用感」を高めることができるよう支援する。

##### 3 進路課

- (1) 多様化する生徒の実態に合ったキャリア教育を実践し、自己理解及び職業理解を通して、生徒の進路意識の向上を目指す。
- (2) 個々の生徒が持つ特性について理解を深め、社会的自立を支援し、100%の進路実現を目指す。

##### 4 厚生課

- (1) 生徒・保護者へ健康の保持・増進に関する知識の啓発活動に努めるとともに、事故防止及び防災や減災に努める能力の育成を図る。
- (2) エバーサステナブルの観点ですべての生徒にとって学びやすい環境作りに努め、生徒の環境美化意識の涵養を図る。

##### 5 年団

- (1) 保護者との連携・協力を軸に、生徒が安心して充実した学校生活を送れるよう、学習環境の場を整える。
- (2) 各課や各年団との連携を深め、生徒情報や指導方法を共有し、生徒に社会性と自主性を身に付けさせ、進路実現に向けた指導の充実を図る。

##### 6 学校運営

- (1) 地域社会や外部機関との連携を通じて、地域に貢献し信頼される、魅力ある学校づくりに努める。
- (2) 情報の見える化と研修の充実を図り、協力・協働体制の一層の推進を通して、組織力のある学校づくりに努める。